

● I A E S T E 交換留学生～V I N くん～

7月と8月の2か月間、マカオ大学から交換留学生が当社に研修にきました。名はLei Meing Kuong、愛称はV I N C E N T だということで、V I N くんと呼んでいました。

研修の最終日に、インターン報告をしてもらいました。英語によるそれは、パワーポイント49点にのぼり、面白かったのは人口と面積がほぼ同じのマカオ区と板橋区の比較でした。人口構造、経済、住環境、まち並み、交通・バリアフリー、教育・医療、商業・サービスなどの点からの比較で、現地の写真をふんだんに取り入れた発表でした。研修の合間でよくここまで調べ上げたものだと感じました（聞くとマカオの写真撮影は家族に頼み取り寄せたとのことでした）。帰国したV I N くん早速ホットニュースをお願いしました。以下のとおりで、日本語での投稿でした。原文のままご紹介いたします。

『この二ヶ月間のインターンの日々は、毎日マカオと違う町を歩いたり、日常と違う交通手段を使ったりしました。その積み重ねたことは本当に自分の考え方を少しずつ変えました。

まちづくりについてマカオと東京の違いは、前の発表でも少し言いましたが、今回は日常用品と食材の購入をテーマにしてちょっと比較したいと思います。

マカオで一般的な日常用品はスーパーマーケットで売っています。他にビルの近いところにミニストアも良くあります。販売する商品は大体ドリンク、タバコ、お菓子、インスタントラーメンなどで、値段はスーパーよりちょっと安いものです。残りの「10元（10パタカ＝110円）店」も日本の百円店と同じくらい安い選択です。食材に関しては、どこでも生肉、生海産、野菜を好きな分量で売るフードマーケットビルがあります。いろんなフルーツがある別々の店はそのビルの周りに並んでいます。最近ではフルーツショップや調理済みの食品市場は、図書館とともにフードマーケットビルに引越することもあり、ビル自身も市政センターのような存在になりました。中の店は大体夜の7時に閉店します。

東京もスーパーやフードマーケットがあります。日常の物はそういう場所で大抵見つけられますが、生肉は全部パッケージに入ったまま売られています。野菜とフルーツの種類はちょっと少ないと思います。最も便利な場所はコンビニで、そば、うどん、寿司、カレーライスなど何でもそろそろコンビニ弁当はティーンエイジャーの大好物でしょう。しかもネット決済、コピーとかいろんなサービスも可能だから、暗い夜中に煌々と蛍光灯に照らされる白昼こそ忙しいサラリーマンの心地いい場所なのではないでしょうか。だが、便利だけど無駄遣いを奨励することになりそうです。

そういう方面で、マカオと東京の違いは多様性と総合性でしょう。どちらがいいのははっきり言えませんが、時間があるとき、やっぱりもっと選択できる「多様性」の方が楽しいと思います。』

高尾利文（第二計画部）

● 橋本駅南口交通社会実験計画

橋本駅は、神奈川県相模原市緑区にあるJR東日本・京王電鉄の駅です。緑区の玄関口として多くの路線バスが乗り入れているほか、駅へのマイカー送迎車両も多く、特に朝夕の通勤時間帯は駅周辺の交通渋滞が深刻化しています。

そこで実際に問題に直面している地域住民や道路利用者、そして相模原市がワークショップ形式で渋滞緩和策について検討を重ね、平成23年度に橋本駅南口にて交通社会実験を行うことになりました。

現在、社会実験メニューの具体的な内容を検討している段階ですが、「自転車専用レーンの設置」や「マイカー待機場・タクシー待機場の確保」など複数の交通施策を組み合わせ、駅周辺の混雑解消を図る予定です。

また、実験の効果をより高めるために、モビリティ・マネジメント（※）も実施します。社会実験の詳細が決まりましたら、またお知らせしたいと思います。

※モビリティ・マネジメント

過度な自動車利用を控え公共交通を適切に利用するように、人々の手段転換を促すコミュニケーション（アンケート）を中心とした交通政策

大野 学（第一計画部）

発行責任者：代表取締役 庄山高司
事務局：株式会社アルメック 業務部
東京都目黒区青葉台 1-19-14
電話 03-5489-3211・FAX 03-5489-3210
Eメール hotnews@almec.co.jp
ホームページ <http://www.almec.co.jp/>

Copyright 2010 ALMEC Corporation. All rights reserved.